

令和5年度山形大学農学部公開講座

# 農学の夕べ

2023.9.21～10.26

毎週木曜日（全6回）18：30～19：30  
山形大学農学部3号館3階301大講義室  
先着70名（高校生・一般）／参加無料

## 第1回

9月21日（木）

アグリテックが農畜産業を  
変える日が来る！？  
市浦 茂

## 第2回

9月28日（木）

食品の機能性研究について  
叶 奈緒美

## 第3回

10月5日（木）

「メタボローム解析」を  
用いた農産物の品質評価  
宮城 敦子

## 第4回

10月12日（木）

SDGsに貢献する農学  
林田 光祐

## 第5回

10月19日（木）

柿と日本人の長くて深い  
おつきあい  
－考古学、歴史、  
多面的利用、そして文化－  
平 智

## 第6回

10月26日（木）

ニワトリ学  
－「ととこ」の魅力を紹介  
します－  
堀口 健一

## 【申込方法】

8月21日（月）～9月4日（月）の期間中に、下記の  
申込みフォームからお申込みください。

※全6回通しでのお申込みとなります。

## ◎申込みフォーム

URL: <https://forms.office.com/r/z37u6wLP4g>

QRコード→



※インターネット環境等により、フォームからの申込みが難  
しい場合は、お電話での申込みも可能です。（山形大学  
農学部総務課研究・社会共創室）

TEL: 0235-28-2909

※定員になり次第、受付終了となりますのでご了承ください。

※予定が変更になる場合がありますので、その都度本学部HPでご  
確認ください。

※当講座の様子については、写真撮影の上、各種広報誌やWeb上  
等に掲載することがありますので予めご了承ください。顔写真  
の撮影等につき特段のご要望がある場合は、担当職員にお申し  
出ください。

《講義概要》

開講日	講義テーマ	講義概要	担当
第1回 9月21日 (木)	アグリテックが農畜産業を変える日が来る！？	日々、デジタル技術の進化は続き、農業、畜産業にもデジタル技術を活用する“アグリテック”の分野の進化が止まりません。将来はたくさんの機械を一人で操り、想像できないほど生産性が上がる未来も夢ではない！？最近のトレンドであるChatGPTがもたらす貢献や、Deep Learningなどを活用によるこれからの農畜産について解説いたします。	助教 市浦 茂
第2回 9月28日 (木)	食品の機能性研究について	食品には3つの基本的な機能として、ヒトが生きていくうえで最も重要な栄養機能（一次機能）に加え、感覚・嗜好機能（二次機能）、健康の維持や増進に関する生体調節機能（三次機能）があります。私の研究室では、食品に含まれる非栄養成分の三次機能に注目して研究を行っています。本講義では、食品の三次機能の研究手法やそこで得られた成果を社会に還元する保健機能食品制度に加え、最近の研究内容についてご紹介いたします。	准教授 叶 奈緒美
第3回 10月5日 (木)	「メタボローム解析」を用いた農産物の品質評価	野菜や果物を多くの人に「美味しい！」と感じてもらうためには、品種改良や育成方法の工夫などを行ったうえで、「どれくらい美味しくなったのか」、逆に「不味くならないか」を客観的に評価する必要があります。今回は、そのような品質評価法の1つとして「メタボローム解析」に着目した内容をお話します。	准教授 宮城 敦子
第4回 10月12日 (木)	SDGsに貢献する農学	地球規模の気候変動やウクライナ侵攻による食料危機などグローバルリスク社会が顕在化するなかで、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すSDGsの視点はますます重要になっています。総合科学である農学がSDGsの推進にどのように貢献できるのかをわかりやすく解説します。	教授 林田 光祐
第5回 10月19日 (木)	柿と日本人の長く深いつきあいー考古学、歴史、多面的利用、そして文化ー	柿は私たち日本人に最も親しまれている果樹の一つです。果実を食するだけでなく、葉を包装用に使ったり、ヘタを葉にしたり、木材の部分をゴルフヘッドに加工したりもします。渋味の成分であるタンニンも古くから様々な用途に使用してきました。本講義では、柿の考古学的な知見と栽培の歴史、渋柿の脱渋方法や多面的利用、柿と日本人とのつきあいの文化的な側面についてもお話ししたいと思います。	教授 平 智
第6回 10月26日 (木)	ニワトリ学ー「ととこ」の魅力を紹介しませー	講義のタイトルにあります「ととこ」とは何か、ご存じですよ？山形県の方ならば知らない方はいないかと思いますが、・・・。 ヒントは方言です。 本講義では、この「ととこ」の魅力を紹介します。皆さんにとって、とても身近な畜産物である鶏肉や鶏卵についても概説します。	教授 堀口 健一

今後の新型コロナウイルスの感染状況により、変更が生じた場合や必要な連絡事項などは、ホームページ上でご案内いたします。